

中部防災ニュース 11月号

発行
静岡県中部地域局
 電話 (054) 644-9104
 メール chubu-kiki@pref.shizuoka.lg.jp

11月は 地震防災強化月間 です。 スローガン「たすけあい 知恵と力と おもいやり」

今年は、6月に大阪で震度6弱、9月には北海道で震度7と立て続けに大地震に見舞われました。この被害を忘れずに日頃から備えておくことがとても重要です。強化月間の重点は「自助の推進」と「共助の実践」。身の周りの備えは自分です。その上に隣近所の助け合いがあれば、地域の防災力を一層高めることができます。



自助の推進！

水・食料の備蓄

水・食料は7日分が基本。水は1人1日3ℓが必要です。ローリングストックなど工夫して備蓄しましょう。



生活必需品の備蓄

非常用のトイレの備蓄は重要です。停電やガスの停止等にも備えましょう。家族構成等を考慮し、必要な物を備蓄しましょう。



家具等の固定

倒れた家具等に押し潰されないよう、固定をしておきましょう。



ハザードマップの確認

地域の危険箇所や避難地、避難経路等を今のうちに確認しておきましょう。



住居の点検

自宅の耐震性やブロック塀の点検をしておきましょう。



共助の実践！

役割・人材の確認

- 災害時における地域での役割を確認しておきましょう。
- 専門的な知識や技能をもつ住民の方々から、いざという時に協力が得られるように相談しておくことも事前対策の1つです。

避難方法の確認

- 避難地や避難経路等を確認しておきましょう。
- 避難時に支援を要する人がいる場合の協力の方法等についても確認しておきましょう。

訓練への参加

- 地域の訓練に積極的に参加しましょう。資機材の整備・点検の他、避難所の使い方等についても話し合ったり訓練したりしましょう。
- 中学生や高校生にも声をかけて一緒に取り組み、日頃から協力し合える関係をつくっておきましょう。



12月2日は、地域防災の日です！

地域の訓練に参加したり、家庭の防災対策を進めたりして、災害時に備えましょう！



※ 訓練の実施の有無や規模等は地域によって異なります。詳しくは地区の役員の方や市町の防災課にご確認ください。



こんな情報が出たときは・・・！？

地震が発生したり地震の可能性が高まったりしたとき、それらのことを皆さんに知らせる情報が出される場合があります。今回は、「緊急地震速報」と「南海トラフ地震に関連する情報」について紹介します。

その1 緊急地震速報

緊急地震速報は、震度 5 弱以上の地震が予想され、その地震の影響で震度 4 以上の揺れが予想される地域に、テレビ・ラジオ・携帯電話等を通じて気象庁から発表される情報です。専用の報知音とともに伝えられます。

緊急地震速報を見聞きしたら安全確保！

<p>家庭では</p> <ul style="list-style-type: none"> ●頭を保護し、じょうぶな机の下など安全な場所に避難する ●あわてて外へ飛び出さない ●むりに火を消そうとしない 	<p>鉄道・バスでは</p> <ul style="list-style-type: none"> ●つり革、手すりにしっかりつかまる 	<p>エレベーターでは</p> <ul style="list-style-type: none"> ●最寄りの階に停止させ、すぐにおりる 	<p>屋外(街)では</p> <ul style="list-style-type: none"> ●スロッキョウの傾斜に注意 ●看板や離れたガラスの落下に注意
<p>自動車運転中は</p> <ul style="list-style-type: none"> ●急ブレーキはかけず、ゆるやかに速度をおとす ●ハザードランプを点灯し、まわりの車に注意をうながす 	気象庁パンフレットより転載		

※緊急地震速報が揺れに間に合わないときもあります。速報がなくても揺れを感じたら安全確保！
※緊急地震速報の仕組み等について詳しく知りたい方は、気象庁HPをご覧ください。

その2 南海トラフ地震に関連する情報

気象庁は、昨年の 11 月 1 日から「南海トラフ地震に関連する情報」の運用を開始しました。この情報は、毎月定例で発表される情報と臨時で発表される情報があります。臨時情報は、次のような時に発表されます。

<p>南海トラフ地震に関連する情報 (臨時)</p>	<ol style="list-style-type: none"> ①南海トラフ沿いで異常な現象が観測され、その現象が南海トラフ沿いの大規模な地震と関連するかどうか調査を開始した場合、または調査を継続している場合。 ②観測された現象を調査した結果、南海トラフ沿いの大規模な地震発生の可能性が平常時と比べて相対的に高まったと評価された場合。 ③南海トラフ沿いの大規模な地震発生の可能性が相対的に高まった状態ではなくなったと評価された場合。
-----------------------------------	--



国・県・市町では、気象庁の「南海トラフ地震に関連する情報」(臨時)の発表を受けて、施設の点検や住民の方へ備えについての呼びかけ等を行うことになっています。

もし臨時情報が発表された場合は・・・

日頃の備えを再確認しましょう！

表面「自助の推進」「共助の実践」を参考に再確認しましょう。

また、安否確認の方法や職場の防災対策等も再確認しましょう。



日頃からの備えが基本です！

臨時情報が発表されなくても、大地震が発生することがあります。いつ起こっても対応できるように、日頃から備えておきましょう！



※臨時情報が出た場合のよりよい安全確保のために、自治体・学校・企業等の事前の対応として何ができるのかを、国や県で現在検討を進めています。